

寄 附 行 為

財団法人 尼崎市総合文化センター

財団法人 尼崎市総合文化センター 寄附行為

制 定 昭和48年4月1日

一部改正 昭和49年12月1日

一部改正 昭和50年7月1日

一部改正 昭和61年11月25日

一部改正 平成3年4月1日

第 1 章 総 則

(名 称)

第 1 条 この法人は、財団法人尼崎市総合文化センターという。

(事 務 所)

第 2 条 この法人は、事務所を兵庫県尼崎市昭和通2丁目7番16号におく。

(目 的)

第 3 条 この法人は、尼崎市民の文化の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行なう。

- (1) 尼崎市民の文化、教養の普及向上に関する事業
- (2) 尼崎市総合文化センターの管理運営に関する事業
- (3) その他目的を達成するために必要な事業

第 2 章 資 産 及 び 会 計

(資産の構成)

第 5 条 この法人の資産は、次の各号をもって構成する。

- (1) 別紙財産目録に記載された財産
- (2) 寄附金品
- (3) 資産から生ずる収入
- (4) 事業に伴う収入
- (5) その他の収入

(資産の種別)

第 6 条 この法人の資産を分けて、基本財産及び運用財産の 2 種とする。

2 基本財産は、次の各号をもって構成し、処分することができない。ただし、やむをえない理由があるときは、理事会において理事の 4 分の 3 以上の同意を経、兵庫県教育委員会の承認を得て、その一部に限り処分することができる。

- (1) 別紙財産目録中基本財産の部に記載された財産
- (2) 基本財産として指定されて寄附された財産
- (3) 理事会で基本財産に繰り入れることを議決した財産

3 運用財産は、基本財産以外の資産とする。

(資産の管理)

第 7 条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、理事会の議決により定める。

2 基本財産のうち現金は、郵便官署若しくは確実な銀行に預け入れ、若しくは信託会社に信託し、又は国公債若しくは確実な有価証券にかえて保管しなければならない。

(経費の支弁)

第 8 条 この法人の経費は、運用財産をもって支弁する。

(予算及び決算)

第 9 条 この法人の収支予算は、年度開始前に理事会の議決を経て定め、収支決算は、年度終了後 2 カ月以内にその年度末財産目録とともに、監事の監査を経て、理事会の認定に付さなければならない。

(長期借入金)

第 9 条の 2 この法人が借入れをしようとするときは、この会計年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、理事会において理事の 4 分の 3 以上の同意を経、かつ、兵庫県教育委員会の承認を得なければならない。

(会計年度)

第 10 条 この法人の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

第 3 章 役員、評議員及び職員

(役員の種類)

第 11 条 この法人に、次の役員をおく。

- (1) 理事（理事長 1 名、副理事長 1 名及び常務理事 1 名を含む） 9 名以上、13 名以内。
- (2) 監事 2 名

- 2 役員は、理事会で選任する。
- 3 理事は、互選により、理事長、副理事長及び常務理事を定める。
- 4 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

(役員職務)

第12条 理事は、理事会の決議に基づいて会務を執行する。

- 2 理事長は、この法人を代表し、会務を統轄する。
- 3 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるときは、その職務を代行する。
- 4 常務理事は、常務を処理し、理事長及び副理事長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代行する。
- 5 監事は、民法第59条の職務を行なう。

(役員任期)

第13条 役員（理事長を除く。以下この章において同じ。）の任期は、2年とする。ただし、補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 役員は、再任されることができる。
- 3 役員は、任期満了の場合においても、後任者が就任するまでは、前任者がその職務を行なわなければならない。

(役員解任)

第14条 役員に、役員としてふさわしくない行為があったときは、理事会の議決により、解任することができる。

(役員報酬)

第14条の2 役員は、無給とする。ただし、常勤の役員は、有給とすることができる。

- 2 役員報酬は、理事会の決議を経て理事長が定める。

(評議員会)

第15条 評議員会は、理事長の諮問を受け、次に掲げる事項について意見を述べることができる。

- (1) この法人が主催して行なう事業に関すること。
 - (2) その他理事長が必要と認める事項
- 2 評議員会を構成する委員は、理事長が委嘱する。
 - 3 評議員会の運営に関して必要な事項は、理事長が定める。

(職員)

第16条 この法人の事務を処理するため、必要な職員をおく。

2 職員に関して必要な事項は、理事長が別に定める。

第 4 章 理 事 会

(構 成)

第 1 7 条 理事会は、理事をもって構成する。

(権 能)

第 1 8 条 理事会は、この寄附行為に規定するもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 事業計画の決定
- (2) 事業報告の認定
- (3) 権利の放棄又は予算を伴わない義務の負担
- (4) その他この法人の運営に関する重要なこと。

(招 集)

第 1 9 条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事又は監事から会議の目的たる事項を示して請求があったときは、理事長は、すみやかに理事会を招集しなければならない。
- 3 理事会を招集するには、理事に対し、会議の目的たる事項及びその内容並びに日時及び場所を示して、通知しなければならない。

(議 長)

第 2 0 条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(定 足 数)

第 2 1 条 理事会は、理事の 3 分の 2 以上の出席がなければ、開会することができない。

(議 決)

第 2 2 条 理事会の議事は、この寄附行為に別に規定するもののほか、出席理事の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(書面表決等)

- 第 2 3 条 やむをえない理由のため、理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の理事を代理人として表決を委任することができる。この場合において、前 2 条の規定の適用については、出席したものとみなす。
- 2 緊急の必要がある場合又は軽易な事項については、理事長は書面により賛否を求めて理事会の議決にかえることができる。

(議 事 録)

第24条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 理事会の日時及び場所
 - (2) 理事の現在数
 - (3) 理事会に出席した理事の氏名（書面表決者及び表決委任者を含む。）
 - (4) 議決事項
 - (5) 議事の経過、要領及び発言者の発言要旨
 - (6) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、議長及び出席理事のなかからその会議において選出された議事録署名人2名以上が署名しなければならない。

第 5 章 寄附行為の変更及び解散

(寄附行為の変更)

第25条 この寄附行為は、理事会において、理事の4分の3以上の同意を得、兵庫県教育委員会の認可を得なければ、変更することができない。

(解散及び残余財産の処分)

第26条 この法人は、民法第68条第1項第2号から第4号までの規定により解散する。

2 解散のとき存する残余財産は、尼崎市に帰属する。

第 6 章 雑 則

(委 任)

第27条 この寄附行為の施行について必要な事項は、理事会の議決を経て、別に定める。

附 則

- 1 この法人の設立当初の役員は、別紙役員名簿のとおりとし、その任期（理事長を除く。）は、第13条第1項の規定にかかわらず、昭和49年3月31日までとする。
- 2 この法人の設立初年度の事業計画及び収支予算は、第9条及び第18条第1号の規定にかかわらず、設立者の定めるところによる。
- 3 この法人の設立当初の会計年度は、第10条の規定にかかわらず、設立許可のあった日から昭和49年3月31日までとする。

財団法人尼崎市総合文化センター役員名簿

役名	氏名	推薦団体等	備考
理事長	しらい あや 白井 文	尼崎市長	
副理事長	なかむら のぼる 中村 昇	尼崎市副市長	
常務理事	まつばら ちよしげ 松原 千代繁	東京藝術大学音楽学部客員教授	
理事	あおくも けいじ 青雲 啓至	尼崎労働者福祉協議会	
理事	あさの ごろう 浅野 悟郎	尼崎市環境市民局長	
理事	おにづか みつよ 鬼塚 三代	尼崎市議会議員	
理事	つだ かずお 津田 加寿男	尼崎市議会議員	
理事	つちだ ゆうじ 土田 裕史	尼崎市議会議員	
理事 (放送)	せぎ よしお 世儀 由雄	元株式会社エフエムあまがさき代表取締役社長	
理事	のむら こ 野村 カヤ子	尼崎市連合婦人会	
理事	ひらき やすお 開 康生	尼崎市議会議員	
理事	ふじわら くんじ 藤原 軍次	尼崎市社会福祉協議会	
理事	やまおか てつざん 山岡 哲山	尼崎市文化団体協議会	
監事	じきはら もとよし 直原 基王	尼崎信用金庫	
監事	むらかみ みのる 村上 稔	尼崎市会計管理室長	

はじめに

当センターは、平成 20 年度事業におきましても市民をはじめ、多くの方々に優れた芸術や文化に接する機会を提供し、名実ともに尼崎市の文化振興の核としての役割を担ってまいりました。

美術展事業については、各種助成団体などへ助成金の申請を積極的に行い、財源の確保に努め、また、郷土画家「白髪一雄作品整備・発信事業」として、白髪一雄という優れた芸術家の作品を広く公開するための準備を進めました。

友の会事業については、新たな受講生を確保するため、新聞の折り込み広告など継続的な広報活動を行いながら、体験講座を実施いたしましたが、会員数については昨年度に比べ、減少いたしました。

ホール事業については、アルカイクホール・オクト開館 15 周年記念に相応しく、子供から大人まで楽しみ、感動できるさまざまなジャンルの公演を実施いたしました。

附帯事業や貸館事業については、利用者の立場に立った、より使いやすい施設となるよう努めるとともに、リピーターの確保や新規利用者の開拓を図りました。

今後も来場者によるアンケート集計結果などを基に、事業の目的や主として対象となるターゲットを明確にした広報宣伝活動に取り組んでまいります。

これからも尼崎市の芸術文化の拠点として、財団の役割はますます重要性を増してきており、今後とも創造性豊かな事業を展開し、市民文化の振興と発展に寄与できるよう努めてまいります。

平成 20 年度事業結果

市民が文化や芸術活動に親しみ、心にゆとりと潤いを求める文化意識の高揚に応えるため開設された当センターも 34 年が経過いたしました。

この間、美術展事業や友の会事業、ホール事業を通じて、多くの方々に優れた芸術や文化に接する機会を提供できるように努めてまいりました。

本年度につきましても厳しい財政状況の中ではありましたが、文化事業評議員会で検討された事業計画を基に、芸術性に溢れ、市民が親しめる多彩な事業を実施いたしました。

1 文化事業

(1) 美術展事業

洋画、日本画の枠を取り除き現在画壇の第一線で活躍している画家たちの作品を紹介する『2008 両洋の眼』、と写真の開祖といわれる上野彦馬の名を冠し、若手写真家の発掘と育成を目的とした公募展『第 8 回上野彦馬賞九州産業大学フォトコンテスト』受賞作品展、戦後日本の写真界に新しい独自の表現を提示し、国際的に高く評価されている写真家『細江英公の世界』の 3 事業を開催いたしました。

『2008 両洋の眼』では現代作家の新進の作品を紹介し、『第 8 回上野彦馬賞九州産業大学フォトコンテスト』では特別企画展としてトリックや彩色などが施された幕末・明治期のユニークな写真を公開いたしました。また、『細江英公の世界』では、助成団体から助成を受け、細江の初期の代表的な作品から最新作にいたる約 200 点のオリジナルプリントと資料を数多く展示し、多くの鑑賞者に対し、さまざまな美術作品に関する理解と関心を深めることができました。

また、開催期間中、講演会や作品解説、ワークショップなどの関連イベントを行うとともに会場内に設置したミュージアムショップで関連商品の販売を行うなど、美術ファンのより一層の拡大にも努めました。

今後とも企画内容を充実させ、多くの市民が参加できる場を提供し、効果的な広報活動を行い、収入の確保や入場者数の増加に努めてまいります。

【美術展】

名 称	開 催 期 間	入場者数(人)	入場料
「2008両洋の眼」心に残る美術展	5月17日～6月15日 (26日間)	5,592	有 料
第8回上野彦馬賞九州産業大学フォトコンテスト 受賞作品展 特別企画展 幕末・明治のおもしろい写真	7月26日～8月31日 (29日間)	4,002	有 料
球体写真二元論 細江英公の世界	11月1日～11月30日 (26日間)	5,415	有 料
合 計		15,009	

(12,123)

【講演会等】

と き	テ ー マ	講 師	入場者数(人)
5月17日	ギャラリートーク	両洋の眼委員・美術評論家 瀧 悌三	40
6月1日	作家対談	両洋の眼出品作家 元永 定正 両洋の眼委員・美術評論家 富山 秀男	75
8月3日	講演会 幕末・明治のおもしろい写真	古写真収集家 石黒 敬章	80
8月3日	ワークショップ 光と影で絵を描こう!フォトグラム体験	当センター学芸員	6
8月23日	ワークショップ 光と影で絵を描こう!フォトグラム体験	当センター学芸員	4
11月1日	ギャラリートーク	写真家 細江英公	240
11月22日	スライドレクチャー	写真家 細江英公	180
合 計			625

(416)

()内は、前年度実績

(2) 友の会事業

講座運営につきましては、常設講座、定期講座、短期講座、常設体験講座を実施いたしました。

受講生は、半数が60歳以上で、8割以上が女性という傾向から、団塊世代の女性に人気のある講座を中心に作成したチラシを職員が配布し、積極的な広報活動を実施いたしました。

定期講座は、全ての講座で期間途中からの受講生が、残りの受講料で参加することができるように受講料を新たに設定し、また、一部の講座（アロマテラピー）では、受講回数を選択ができるように、利用者の立場に立った料金体系に改善いたしました。

企画事業につきましては、『第17回友の会発表会』、『テーブルマナー講習会』、『桂米朝一門による尼崎落語勉強会』などを開催し、チラシ配布や市内掲示板でのPRなど広報活動に努めた結果、昨年度の実績を上回ることができました。

今後も新規講座の開拓をはじめ、多様化するニーズに応え、引き続き、広報宣伝活動に励み、受講生の拡大、定着に努めてまいります。

【友の会会員】

男性(人)	女性(人)	合計(人)
258	1,135	1,393
(285)	(1,212)	(1,497)

【常設講座】

講座名		男性(人)	女性(人)	計(人)
洋舞・邦舞コース	バレエ 土曜日(A)	0	85	85
	バレエ 金曜日(B)	0	45	45
	大人のバレエ	0	11	11
	ミュージカルダンス	1	17	18
	社交ダンス	11	12	23
	琉球舞踊	0	27	27
洋楽・邦楽コース	ピアノ 土曜日(A)	1	1	2
	ピアノ 水曜日(B)	0	10	10
	ピアノ 金曜日(C)	1	3	4
	ピアノ 日曜日(D)	3	8	11
	ピアノ 土曜日(E)	1	12	13
	ギター	11	6	17
	ハーモニカ	6	9	15
	英語で音感	7	21	28
	大正琴	0	16	16
	箏曲・三絃	0	11	11
	尺 八	4	1	5
	小 唄	2	2	4
	謡 曲	6	2	8
	吟 詠	11	28	39
民 謡	4	4	8	
名歌を歌う	2	16	18	
美術・工芸コース	書 道 月曜日(A)	5	10	15
	書 道 水曜日(B)	3	13	16
	細字 暮らしの書	1	24	25
	日本画	1	10	11
	俳 画	1	14	15
	水墨画	10	21	31
	洋 画 木曜日(A)	1	7	8
	洋 画 月曜日(B)	7	15	22
	洋 画 水曜日(C)	10	15	25
パステル画	4	15	19	

講座名		男性(人)	女性(人)	計(人)
	児童画	10	15	25
	陶 芸	8	23	31
	仏像彫刻	14	10	24
いけばな・茶道コース	いけばな 月曜日 (A)	0	22	22
	いけばな 金・土曜日 (B)	1	19	20
	いけばな 木曜日 (C)	0	16	16
	いけばな 水曜日 (D)	0	6	6
	茶 道 月曜日 (A)	3	11	14
	茶 道 水曜日 (B)	3	12	15
	茶 道 金曜日 (C)	0	7	7
	煎 茶	0	5	5
服飾・手芸コース	日本人形	0	10	10
	手編み	0	21	21
	アートフラワー	0	15	15
	ルーセントフラワー	0	6	6
	パッチワークキルト	0	28	28
	トールペイント	0	18	18
	押し花アート	0	4	4
	組ひも	1	18	19
	洋 裁	1	23	24
	和 裁	0	14	14
その他	ストレッチ体操	0	9	9
	木蘭拳	0	15	15
	英会話	7	6	13
	囲 碁	5	0	5
	俳 句	1	6	7
合 計		168	830	998

(181) (842) (1,023)

【定期講座】

講座名	講師名	期間の回数(回コース)	開講数(回)	受講者数(人)
やさしいヨーガ 水曜日選択コース	中川 信子	6	2	46
		8	3	
やさしいヨーガ 木曜日選択コース	中川 信子	6	2	44
		8	3	
ウクレレ入門	美濃林 徹	9	1	17
		8	1	
		6	1	
ウクレレ中級	美濃林 徹	9	1	62
		8	1	
		6	1	
短歌で遊ぼう	中野 昭子	6	4	42
大正琴	橋本 美和子	12	2	16
タップダンス	河井 実枝子	10	4	37
水墨画(月1回)	若狭 若州	6	2	16
水墨画(月2回)	若狭 若州	12	2	21
アロマテラピー入門 6回とおしコース	森田 昌美	6	4	20
アロマテラピー入門 2回選択コース	森田 昌美	2	4	39
アロマテラピー入門 1回選択コース	森田 昌美	1	4	40
歌謡レッスン	木村 恭子	4	5	61
大人のバレエ	幹 千佐都	10	4	37
ミュージカルダンス	幹 千佐都	10	4	20
ハーモニカ初級	新山 ミツ子	6	4	70
入門中国語	施 燕芬	10	2	32
		14	1	
初級中国語	施 燕芬	10	2	48
		14	1	
フラワーアレンジメント	塩野 法子	6	4	46
童謡・唱歌	西村 紀子	6	4	59
写真(基礎編)	秋 修一	6	2	24
写真(応用編)	秋 修一	6	2	14
カラーコーディネート	矢田 美津子	8	1	2
色えんぴつアート	きのした てるみ	6	3	40
篆刻入門	松井 凍石	4	1	4
ジオラマ	山本 修司	4	1	7
服飾リメイク	梶間 充子	6	2	25
楽しく健康体操	河井 実枝子	4	1	3
合 計			86	892

(949)

【短期講座】

講座名	講師名	期間の回数(回コース)	開講数(回)	受講者数(人)
アートの見方楽しみ方	坂上 義太郎	2	5	27
夏休み企画「ゆかた」教室	大林 文子	1	1	16
夏休み企画「親子陶芸」	中村 恭子	1	3	102
夏休み企画「親子手芸」	梶間 充子	1	1	12
夏休み企画「親子アロマ」	森田 昌美	1	1	10
夏休み企画「親子ジオラマ」	山本 修一	1	1	27
一日木目込干支	山本 綾子	1	1	5
陶芸干支	中村 恭子	1	1	8
ジオラマ	山本 修一	2	4	15
一日やさしいヨーガ	中川 信子	1	2	12
体験楽しく健康体操	河井 実枝子	3	1	4
合計			21	238

(85)

【常設体験講座】

講座名	講師名	開講数(回)	受講者数(人)
パッチワークキルト	植田 信子	1	4
音感	小山 優美子	9	56
陶芸	中村 恭子	2	9
組ひも	宮原 鳳里	1	1
和裁	大林 文子	1	5
アートフラワー	上村 貞子	1	3
俳画	坂下 佳風	2	3
トールペイント	志水 洋子	2	3
手編み	矢野 久子	1	13
ピアノ 土曜日	小林 幸恵	2	5
ピアノ 日曜日	高橋 光恵	1	1
ギター	田屋 茂	1	3
押し花	佐守 恵美子	1	3
いけばな 月曜日	服部 豊珠	3	3
いけばな 金曜日	吉田 泰己	1	1
茶道 水曜日	中島 宗里	1	1
茶道 金曜日	吉田 宗翠	1	1
煎茶	栖原 白圭	1	1
木蘭拳	増田 和代	2	3
ストレッチ体操	頓宮 洋子	1	2
合計		35	121

(115)

【企画事業】(補助事業を含む)

名称	事業開催回数(回)	参加者数(人)
桂米朝一門による尼崎落語勉強会	6	939 (817)
第17回友の会発表会	1	2,128 (1,637)
テーブルマナー講習会	1	35 (48)
舞台芸術鑑賞事業	30	114 (187)
美術展鑑賞事業	3	2,378 (1,889)
合計	41	5,594 (4,578)

(41)

友の会発表会は隔年開催のため、第17回友の会発表会の()内は、平成18年度実績。

(3) ホール事業

【大ホール事業】

『佐渡裕指揮・兵庫芸術文化センター管弦楽団特別演奏会』は、関西で絶大な人気を誇る佐渡裕の指揮と、人気実力を兼ね備えたピアニストの及川浩治を迎えた演奏会であったため、チケットは、完売になりました。

『アロージャズオーケストラ with 寺井尚子』公演は、アロージャズオーケストラの前リーダーであった北野タダオが公演直前に引退し、引退コンサートを公演直前に、大阪、神戸で実施されたため、チケットの販売枚数は、目標枚数に達しませんでした。

沖縄出身のビギンが出演した『ビギンの一五一会』は、ぴあとの共同企画で実施し、未就学児童の入場も可能にするなどした結果、立見席が出る程の入場者で賑わいました。

『江原啓之スピリチュアル講演会』は、ホールメイト会員約300人を増加させることができ、チケットは、一般発売当日に完売いたしました。

新国立劇場が開館10周年を機に、自主制作した舞台芸術を当財団と共催事業として展開した『新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演「蝶々夫人」』は、舞台セット・キャスト・オーケストラなど全て、新国立劇場で実施されるものを、関西の高校生に提供することが出来ました。

就学前の幼児向け通信教育教材から生まれたキャラクター「しまじろう」達が出演するファンタジックな冒険物語の『しまじろうと ゆうえんちへ いこう！』は、子どもも大人も楽しめる人気の公演でチケットは、早期に完売となりました。

他に『関西二期会』オペラ公演、『関西歌劇団』オペラ公演、『ニュー・オペラシアター神戸』オペラ公演、『貞松・浜田バレエ団定期公演』、『法村友井バレエ団定期公演』や『ジャパン・ブラス・コレクション』を実施いたしました。

今後も、より多くの市民に知っていただくために広報活動にも工夫を凝らし、幅広い購入者層を開拓するなど目標達成に向けて取り組んでまいります。

と き	名 称	入場者数(人)	入場料
5月17日	関西二期会第68回オペラ公演	2公演	
18日	「セヴィリアの理髪師」	3,114	有 料
7月21日	佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団特別演奏会	1公演 1,709	有 料
9月23日	貞松・浜田バレエ団特別公演 第4回アルカニック定期公演「 Coppélia 」	1公演 1,449	有 料
9月24日	アロージャズオーケストラ with 寺井尚子	1公演 1,145	有 料
10月4日	関西二期会第69回オペラ公演	2公演	
5日	「カルメン」	2,889	有 料
10月9日	ビギンの一五一会	1公演 1,759	有 料
10月10日	江原啓之スピリチュアル講演会	1公演 1,788	有 料
10月25日	関西歌劇団第90回オペラ公演	2公演	
26日	「ファルスタッフ」	2,407	有 料
11月13日	新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演	2公演	
14日	「蝶々夫人」	2,992	有 料
12月21日	法村友井バレエ団 第7回アルカニック定期公演「くるみ割り人形」	1公演 1,100	有 料
1月12日	しまじろうと ゆうえんちへ いこう！	2公演 3,461	有 料
2月7日	ニュー・オペラシアター神戸第28回オペラ公演	2公演	
8日	「ウィンザーの陽気な女房たち」	1,846	有 料
2月16日	ジャパン・プラス・コレクション vol.11 THE 9th CONCERT IN ARCHAIC HALL	1公演 1,152	有 料
合 計		19公演 26,811	

(23公演 28,123)

【中ホール事業】

『和楽器演奏集団「独楽」公演』は、日本の伝統芸能である和太鼓・津軽三味線・尺八等を駆使した公演がお客様より好評を得ました。『ロメオとジュリエッタ』は、上演機会の少ないグランドオペラを、小空間で登場人物を2人に絞り込み、ピアノと語りで進行する新しい形態のオペラで新聞社4社を回り積極的に話題作りに努めましたが、目標枚数には届きませんでした。テレビでお馴染みの社会風刺のきいたコント集団『ザ・ニュースペーパー』は、ご当地の話題も取り込んだ内容で、お客様に好評でした。また、1公演を尼崎青年会議所に買い取ってもらうなど、チケットの販売促進にも努力しました。オクトホール開館15周年記念のメイン事業としての『アルカイクプロデュース第1回オクトダンスフェスティバル ダンスグランプリ in OCT』は、市民参加型事業とし、参加団体14チーム、初めての試みで会場審査員賞を設けました。

出演団体や関係者のコミュニケーションも円滑に図ることができ、集客も目標に達し、出演者やお客様から再演を望む声が多数聞かれました。クリスマスシーズンの恒例事業の『古谷充 ネイバーフード・ビッグバンドリサイタル』は、NANIWA EXPをスペシャルゲストに迎えたため、20歳前後の集客に繋がり、過去最高の入場者数になりました。『菅原洋一&英介 父と子のコンサート』は、菅原が歌手生活50周年記念という話題性も有り、効果的な宣伝も行えた結果、入場者数・販売枚数とも予想を上回ることが出来ました。『古澤巖プレゼンツ 新春 高嶋ちさ子スペシャル』は、人気のヴァイオリニストの高嶋ちさ子を特別ゲストに迎え、メイトと古澤氏のファンクラブの会員限定公演を行ったため、多数の新規会員を獲得することが出来ました。

他に『尼崎文楽公演』や『関西二期会室内オペラシリーズVol.18「ルクリースシア」』、『オペラ講座』を実施いたしました。

今後につきましても、市民参加事業の調査研究を行い、市民協働の企画を併せながら舞台機構や客席構成を変化させることができるという構造上の特性を有効に活用し、幅広いジャンルで事業展開を実施いたします。

と き	名 称	入場者数(人)	入場料
6月29日	和楽器演奏集団 独楽	1公演 511	有 料
8月9日	尾崎比佐子・福原寿美枝 「ロメオとジュリエッタ」	1公演 278	有 料
9月15日	ザ・ニューズペーパー in 尼崎	2公演 817	有 料
9月26日	尼崎文楽公演	2公演 790	有 料
11月29日	第1回オクトダンスフェスティバル ダンスグランプリ in OCT	1公演 445	有 料
12月13日	古谷充奈イバーフード・ビッグバンド・リサイタルVol.12 スペシャルゲスト/NANIWA EXP	1公演 533	有 料
12月24日	菅原洋一&英介 ~父と子のコンサート~	1公演 605	有 料
1月18日	古澤巖プレゼンツ 新春 高嶋ちさ子スペシャル	1公演 433	有 料
3月13日 14日	関西二期会室内オペラシリーズVol.18 「ルクリーシア」全2幕	2公演 877	有 料
合 計		12公演 5,289	

(8 公演 3,163)

(オペラ講座)

と き	名 称	受講者数(人)	入場料
9月4日	アルカイクオペラ講座 第17弾 ティータイムコース オペラをもっと楽しみませんか！？ 第1回「マリア・カラス～歌手として、女として」	16	有 料
9月11日	アルカイクオペラ講座 第17弾 一般コース オペラをより深く理解してみませんか！？ 第1回「カルメンの生と死」	25	有 料
9月19日	アルカイクオペラ講座 第17弾 ティータイムコース オペラをもっと楽しみませんか！？ 第2回「オペラの中で翻弄される人物にスポットを！！」	44	有 料
10月4日 5日	アルカイクオペラ講座 第17弾 第1回オペラ鑑賞 関西二期会「カルメン」	16	有 料
10月8日	アルカイクオペラ講座 第17弾 一般コース オペラをより深く理解してみませんか！？ 第2回「オペラのツボ～ここが分かれば楽しめる～ファルスタッフの場合」	39	有 料
10月25日 26日	アルカイクオペラ講座 第17弾 第2回オペラ鑑賞 関西歌劇団「ファルスタッフ」	16	有 料
合 計		156	

(6 公演 211)

【ミニホール事業】

一流のアーティストによる演奏会や新人の発掘、優秀な人材の紹介などを目的とした演奏会を実施いたしました。

『新人コンサート』、『20歳のコンサート』は、初々しい将来が期待される演奏者の気持ち伝わってくる演奏会として好評でした。『古澤巖×高橋悠治』演奏会は、カリスマピアニスト高橋悠治と古澤巖との共演であったため、一般発売後、早期に完売するほどの人気の企画でした。『関西歌劇団サロンオペラ「ジュリアス・シーザー」』は、上演回数が少ない秀作であったため、目標以上の入場者でした。『うたって、あそぼう！ 親子コンサート～0歳からのクラシック～』は、通常のクラシックコンサートでは入場出来ない未就学児とその保護者の方に楽しんでいただくために、初めて企画した事業でした。チケットは、早期に完売し、お客様より再演を望む声を多くいただきました。

今後につきましても従前からの周知方法はもちろん市報、ホームページへの掲載など可能な限り広報活動を行い、継続してまいりたいと考えております。

と き	名 称	入場者数(人)	入場料
4月20日	第273回サロンコンサート 「新人コンサート」	1公演 106	有 料
7月31日	第274回サロンコンサート 「田村かよ子ソプラノリサイタル ～響け、哀愁の歌声part.6」	1公演 293	有 料
8月22日	第275回サロンコンサート 民族楽器コンサート	1公演 166	有 料
10月23日	第276回サロンコンサート 「古澤巖×高橋悠治」	1公演 273	有 料
1月18日	第277回サロンコンサート 「20歳のコンサート」	1公演 145	有 料
1月31日	第278回サロンコンサート 関西歌劇団サロンオペラ「ジュリアス・シーザー」	2公演 475	有 料
2月20日	第279回サロンコンサート 「ユーフォニアム・グループ“グロウ”第7回演奏会」	1公演 151	有 料
3月8日	うたって、あそぼう！ 「親子コンサート」 ～0歳からのクラシック～	2公演 350	有 料
合 計		10公演 1,959	

(9公演 1,764)

【受託事業】

と き	名 称	入場者数(人)	入場料
10月9日	尼崎市戦没者追悼式	329	無 料
1月25日	第6回尼信プラスフェスティバル	1,344	要整理券
合 計		1,673	

(2公演 1,722)

【市民参加事業】

和楽器演奏集団 独楽による市民招待公演は、市内在住の身体障害者、知的障害者を対象に実施いたしました。関西二期会、関西歌劇団オペラ公演の総合練習(ゲネプロ)への市民招待をはじめ、貞松・浜田バレエ公演、法村友井バレエ団のバレエ公演の総合練習(ゲネプロ)への市民招待を実施いたしました。また、バレリーナを目指す子供達と法村友井バレエ団との公演も実施いたしました。古澤巖公演の翌日に実施した小学生を対象としたスクールコンサート、夏休み期間中のホールの空き日を有効利用したバックステージツアー(舞台裏探検ツアー)を企画し、市内の児童を招待いたしました。

また、初の試みとして、本格的なクラシックコンサートを無料で出前するアウトリーチ事業として、『持丸秀一郎クラリネットミニ・コンサート』を市内の介護老人施設で実施し、大変好評を得ました。

と き	名 称	参加者数(人)	参加料
6月28日	和楽器演奏集団 独楽 市民招待公演	78	無 料
8月29日	舞台裏探検ツアー	105	無 料
9月23日	バレエ公演総合練習(ゲネプロ)への市民招待 (貞松・浜田バレエ団)「コッペリア」	90	無 料
10月3日	オペラ公演総合練習(ゲネプロ)への市民招待 (関西二期会)「カルメン」	86	無 料
10月24日	オペラ公演総合練習(ゲネプロ)への市民招待 (関西歌劇団)「ファルスタッフ」	52	無 料
12月21日	バレエ公演総合練習(ゲネプロ)への市民招待 (法村友井バレエ団)「くるみ割り人形」	106	無 料
12月21日	法村友井バレエ公演にバレリーナとして出演 (バレエスクール通学者のオーディション合格者)	1	無 料
1月19日	古澤巖スクールコンサート	602	無 料
3月26日	第1回アウトリーチ事業 持丸秀一郎クラリネットミニ・コンサート	70	無 料
合 計		1,190	

(1,194)

2 附帯事業

宴会事業は、季節に応じたバラエティ豊かで新鮮味のあるプランに、さまざまな特典を付加し、随時提供してまいりましたが、景気の低迷等に伴い、上半期の業績は前年に比べ悪化いたしました。下半期は、戸別訪問やダイレクトメールなど、積極的に営業活動を行ったことにより、前年度より多くの利用を得ることができましたが、去年の件数を維持することはできませんでした。

今後も引き続き、営業活動を推進し、利用者の立場に立ったより良いサービスの提供を心がけリピーターの確保に努め、また、チラシやホームページなど広報媒体を積極的に利用し、新規利用者の開拓に努めてまいります。

【宴会】

件数(件)	利用者数(人)
396	17,937
(422)	(18,664)

3 貸館事業（自主事業を含む）開館日数 307 日

貸館事業は、名入れボールペンなどの販促グッズを提供し、利用者にアルカ
イックホール・オクト開館 15 周年をアピールしながら営業活動を行いました。

大・中ホールでは、全国規模の催事や周年事業を誘致する目的で設けた随時
受付制度や、貸館開始前にホールの空き情報を利用者提供するサービスが定
着し、大ホールについては、前年度を上回る利用率を得ました。

会議室については、会社商店などによる会場の利用が落ち込み、前年度を下
回る結果となりました。

今後は、ホームページなどの広報媒体を充実し、新規利用者の開拓を図ると
ともに、利用者のニーズにあった良質なサービスを提供し、リピーターの確保
に努めてまいります。

(1) 会議室

利用状況

施設名	利用日数(日)	利用件数(件)	利用率(%)	利用者数(人)
第一会議室	178	198	58.0	5,128
第二会議室	179	203	58.3	17,329
第三会議室	169	182	55.0	7,165
第四会議室	209	272	68.1	5,640
特別会議室	42	42	13.7	748
合 計	-	897	-	36,010

(1,112)

(41,126)

利用内訳

内 訳	第一(件)	第二(件)	第三(件)	第四(件)	特別(件)	計(件)
会議	108	59	83	148	4	402
講習	43	35	36	81	2	197
講演	7	17	9	3	0	36
会食	2	17	2	2	1	24
音楽	0	2	0	0	1	3
リハーサル室、控室	31	27	30	31	33	152
その他	7	46	22	7	1	83
合 計	198	203	182	272	42	897

(271) (213) (188) (383) (57) (1,112)

(2) 宴会室

利用状況

施設名	市内(件)	市外(件)	合計(件)	利用者数(人)
桐の間	69	5	74	1,090
桂の間	86	7	93	2,021
橘の間	121	8	129	4,844
松の間	66	8	74	3,394
合計	342	28	370	11,349

(368) (35) (403) (12,430)

利用内訳

内 訳	桐(件)	桂(件)	橘(件)	松(件)	計(件)
会食	57	75	105	58	295
会議等	17	18	24	16	75
合計	74	93	129	74	370

(403)

(3) 美術ホール

利用状況

施設名	利用日数(日)	利用件数(件)	利用率(%)
2階ホール	136	23	44.3
4階ホール	231	23	75.2
5階ホール	236	24	76.9

利用内訳

内 訳	2階ホール(件)	4階ホール(件)	5階ホール(件)	合計(件)	入場者数(人)
書道展	1	4	9	14	11,353
日本画展	3	2	0	5	938
洋画展	6	4	2	12	8,990
写真展	1	2	2	5	9,571
水墨画	2	0	1	3	1,346
いけばな展	0	0	2	2	3,000
工芸展	4	3	0	7	2,389
作品発表展	2	5	4	11	14,659
彫塑	0	0	0	0	0
その他	4	3	4	11	1,530
合計	23	23	24	70	53,776

(75) (61,567)

(4) 大ホール

利用状況

施設名	利用日数(日)	利用件数(件)	利用率(%)
大ホール	241	251	78.5
リハーサル室	254	269	82.7
オーケストラ団員控室	123	123	40.1
第一楽屋	158	160	51.5
第二楽屋	151	151	49.2
第三楽屋	155	155	50.5
第四楽屋	182	182	59.3
第五楽屋	182	183	59.3
第六楽屋	139	139	45.3
第七楽屋	141	141	45.9

利用内訳

内 訳	件 数(件)	入場者数(人)
コンサート	69	90,012
発表会	20	24,570
コンクール	12	24,164
劇団公演	4	7,242
式典	3	6,397
学校行事	13	10,730
後援会	0	0
講演会・研究会	12	15,631
大会	2	2,660
リハーサル等	113	0
映画	0	0
その他	3	105
合 計	251	181,511

(258) (198,550)

(5) 中ホール

利用状況

施設名	利用日数(日)	利用件数(件)	利用率(%)
中ホール	190	199	61.9
練習室 1	164	174	53.4
練習室 2	174	183	56.7
控室 1	111	111	36.2
控室 2	108	108	35.2
控室 3	122	122	39.7
控室 4	114	115	37.1
会議室 1	78	78	25.4
会議室 2	66	66	21.5
応接室	51	51	16.6

利用内訳

内 訳	件 数(件)	入場者数(人)
コンサート	31	15,447
発表会	17	6,687
コンクール	12	3,860
劇団公演	3	2,507
式典	6	2,679
学校行事	4	2,450
後援会	1	700
講演会・研究会	22	8,622
大会	14	5,484
映画	0	0
リハーサル等	81	0
その他	8	8,713
合 計	199	57,149

(220) (59,966)

(6) ミニホール

利用状況

施設名	利用日数(日)	利用件数(件)	利用率(%)	利用者数(人)
ミニホール	167	188	54.4	27,689

(28,419)

利用内訳

内 訳	利用件数(件)
会議	10
講習	5
講演	11
会食	77
音楽	51
リハーサル・仕込み	20
その他	14
合 計	188

(200)

4 団体育成事業

(1) 音楽団体

市吹奏楽団、市合唱団をはじめ、市吹奏楽連盟、市合唱連盟、市合奏連盟の育成にあたり、定期演奏会等の開催を通じて各団体の活動の活性化を図りました。

今後も、音楽に親しむ裾野を広げ、音楽文化の向上に寄与できるよう、各団体の自主性を尊重しながら指導育成に努めてまいります。

尼崎市吹奏楽団

と き	名 称	と ころ	入場者数(人)	入場料
6月8日	第44回定期演奏会	大ホール	738	有 料
12月7日	特別演奏会	大ホール	620	有 料
合 計			1,358	

(1,649)

尼崎市合唱団

と き	名 称	と ころ	入場者数(人)	入場料
10月19日	第44回定期演奏会	大ホール	1,139	有 料

(1,195)

尼崎市吹奏楽連盟

と き	名 称	と ころ	入場者数(人)	入場料
7月20日	第135回定期演奏会	大ホール	1,499	有 料
12月23日	第136回定期演奏会	大ホール	951	有 料
3月22日	第137回定期演奏会	大ホール	1,186	有 料
合 計			3,636	

(4,300)

尼崎市合唱連盟

と き	名 称	と ころ	入場者数(人)	入場料
6月8日	第71回定期演奏会	中ホール	625	無 料
12月14日	第72回定期演奏会	中ホール	662	無 料
合 計			1,287	

(1,259)

尼崎市合奏連盟

と き	名 称	と ころ	入場者数(人)	入場料
7月17日	第55回定期演奏会 No.102アンサンブルの部	労働福祉会館	220	無 料
2月14日	第55回定期演奏会 幼児・管楽・器楽の部	大ホール	3,200	無 料
3月7日	第55回定期演奏会 No.103アンサンブルの部	ミニホール	280	無 料
合 計			3,700	

(3,150)

(2) 尼崎芸術文化協会

尼崎芸術文化協会に対する助成を通じて、文化講演会の実施や機関誌の発行、美術展や舞台公演を開催するなど芸術文化の普及、振興に努めました。

これからも事業内容の質を高め、文化活動の一層の充実と普及を図ってまいります。

文化講演会

と き	テ ー マ	講 師	と ころ	入場者数(人)	入場料
5月17日	尼崎芸術文化協会第52回文化講演会 「音楽運動療法による 脳リハビリテーション」	医学博士 音楽運動療法家 作曲家 サクソフォン奏者 野田 燎	会議室	65	無 料

(85)

美術展

と き	名 称	と ころ	入場者数(人)	入場料
2月14日 ~ 2月22日	第28回芸文美術展	美術ホール	1,974	無 料

(1,309)

舞台公演

と き	名 称	と ころ	入場者数(人)	入場料
3月20日	尼崎芸術文化協会第25回公演 金子浩三ピアノ パフォーマンス ヴィズ “メディウム”	大ホール	650	有 料

(1,750)

5 文化振興事業

広く文化活動を行っているグループや団体に展示・発表の場を提供する『尼崎市民ふれあいギャラリー』、夏の風物詩となっている『第29回富松薪能』、『第29回尼崎薪能』、尼崎市文化団体協議会に所属する団体が交流する場である『第12回あまがさき芸術フェスティバル』、本選会場を尼崎市民まつり会場 橘公園で開催した『第9回新人お笑い尼崎大賞』、市民の美術に対する創作意欲の向上を図る『第61回尼崎市展』、短歌、俳句、川柳などの文芸作品を募集し、優秀作品を表彰する『第63回尼崎市文芸祭』、市内で活動されている演劇団体の発表の場である『第57回尼崎市演劇祭』、全国規模の活動で芸術性の高い優秀な作品等を創作している方を顕彰する『第45回尼崎市民芸術賞』や市内で永年にわたって文化活動に従事し特に功労があった方を顕彰する『第38回尼崎市文化功労賞』の公募、選考事務を執り行いました。

また、今年度から新たに尼崎市から移管されました近松関連事業である『近松賞』、『近松ナウ』、『近松祭』につきましても取り組んでまいりました。

尼崎市民ふれあいギャラリー

団体名	会期	ところ	入場者数(人)	入場料
あすなる会	7月9日～7月14日	ギャラリー・アルカイック	1,623	無料
B洋画クラブ	7月16日～7月21日			
金羊会	7月23日～7月28日			
アトリエ舞	7月30日～8月4日			
遊友会	8月6日～8月11日			
すずらん	8月20日～8月25日			
大庄洋画グループ	8月27日～9月1日			
小田洋美会	9月3日～9月8日			
キルト・ザ・シホン	9月10日～9月15日			
団体名	会期			
竹彩会	7月10日～7月15日	ｽﾊﾟｰｽﾋﾞﾎｯﾄ	1,847	無料
花ともだち	7月17日～7月22日			
つくし会	7月24日～7月29日			
尾浜油絵グループ	7月31日～8月5日			
一彩会	8月7日～8月12日			
琴城カメラクラブ	8月14日～8月19日			
団体名	会期	ところ	入場者数(人)	入場料
細川絵画教室	1月8日～1月13日	ｽﾊﾟｰｽﾋﾞﾎｯﾄ	3,572	無料
杉菜みずえ会	1月15日～1月20日			
園田木光クラブ	1月22日～1月27日			
旬彩会・社の会	1月29日～2月3日			
コスモスアートスタジオ	2月5日～2月10日			
フォト写友	2月12日～2月17日			
イーゼル塚口・塚口水彩会	2月19日～2月24日			
粘土の花ヴィオーラ	2月26日～3月3日			
パステル同好会・尼崎グリーンフォトクラブ	3月5日～3月10日			
合 計				

(7,563)

第 29 回富松薪能

と き	名 称	と ころ	入場者数(人)	入場料
7月26日	第29回富松薪能	富松神社境内	延べ1,000	無 料

(延べ 1,000)

第 29 回尼崎薪能

と き	名 称	と ころ	入場者数(人)	入場料
8月5日	第29回尼崎薪能	大物川緑地 野外能舞台	延べ600	無 料

(延べ 650)

第 12 回あまがさき芸術フェスティバル

と き	名 称	と ころ	入場者数(人)	入場料
9月28日	第12回あまがさき芸術フェスティバル	ピッコロシアター	440	無 料

(420)

第 9 回新人お笑い尼崎大賞

と き	名 称	と ころ	入場者数(人)	入場料
10月4日	第9回新人お笑い尼崎大賞	尼崎市民まつり 会場	延べ1,100	無 料

(延べ 1,600)

第 61 回尼崎市展

会 期	部 門	応募点数	入選点数	と ころ	入場者数(人)	入場料
10月11日 ~10月19日	洋画	128	53	美術ホール 4・5階	2,407	無 料
	写真	216	77			
	書	30	17			
	日本画	18	9			
	彫塑・立体・工芸	63	27			
	合 計	455	183		2,407	

(448)

(3,099)

第 63 回尼崎市文芸祭

開催日	ところ	部 門	応募作品数	入選作品数	募集期間
10月19日	会議室	短歌部門	256作品	一席から四席 4作品 選者特別賞 1作品 佳作 25作品 準佳作 89作品	7月16日 8月4日
		俳句部門	427作品	一席から四席 4作品 選者特別賞 1作品 佳作 25作品 準佳作 104作品	
		川柳部門	418作品	一席から四席 4作品 選者特別賞 1作品 佳作 25作品 準佳作 103作品	
		合 計	1,101作品	386作品	

(1,007)

(365)

近松祭 285 年祭

と き	名 称	入場者数(人)	入場料
10月26日	近松285年祭	460	無 料

(420)

第 45 回尼崎市民芸術賞

表彰式	候補者数	被表彰者
10月29日	13名	尼崎市民芸術賞 辻井 清幸 尼崎市民芸術奨励賞 尾崎 比佐子

第 38 回尼崎市文化功労賞

表彰式	候補者数	被表彰者
10月29日	7名	尼崎市文化功労賞 管 静男 尼崎市文化功労賞 田屋 茂 尼崎市文化功労賞 本家 浄子

第 57 回尼崎市演劇祭

と き	名 称	ところ	入場者数(人)	入場料
1月31日 2月1日	第57回尼崎市演劇祭	ピッコロシアター	538	無 料

(446)

6 就業体験受入事業

名 称	と き	受入学校など
地域に学ぶ トライやる・ウィーク	6月2日～6月6日(4日間)	尼崎市立日新中学校 2年生3名
セルフナビ 職場訪問	7月10日～7月11日(2日間)	兵庫県立尼崎高等学校 1年生2名
インターンシップ	8月4日～8月8日(5日間)	大阪経済大学 3回生3名、2回生1名 大手前大学 3回生4名

休館日を除く

参 考 理 事 会

名 称	と き	議 題
第1回理事会	5月26日	報告第1号 役員の異動について 報告第2号 副理事長等の選出結果について 議案第1号 平成19年度事業報告及び収支決算について(原案認定)
書面表決	7月27日	議案第2号 役員の選任について 理事(亀田 孝幸氏、北村 章治氏、野村カヤ子氏)選任
第2回理事会	11月26日	報告第2号 役員の異動について 報告第3号 平成20年度上半期事業結果及び収支状況について 議案第3号 放送事業の譲り受けについて
第3回理事会	12月19日	議案第3号 放送事業の譲り受けについて 継続審議(原案承認)
第4回理事会	3月30日	議案第4号 役員の選任について(原案承認) 理事(中村 昇氏、松原 千代繁氏、世儀 由雄氏) 監事(村上 稔氏) 議案第5号 副理事長等の選出について(原案承認) 副理事長(中村 昇氏)、常務理事(松原 千代繁氏) 議案第6号 放送事業の選任と権限の委任について(原案承認) 放送担当理事(世儀 由雄氏) 議案第7号 平成21年度事業計画及び収支予算について(原案承認)

参 考 文 化 事 業 評 議 員 会

名 称	と き	議 題
第1回 文化事業評議員会	10月23日	報告1 委員の異動について 協議1 平成22年度自主事業等の企画について
第2回 文化事業評議員会	11月17日	協議1 平成22年度自主事業等の企画について(継続協議)
第3回 文化事業評議員会	2月5日	協議1 平成22年度自主事業等の企画について(意見総括)

収支計算書総括表
平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

単位：円

科 目	a 一般会計	b 特別会計	a + b 合 計	備 考
事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用収入	1,430,199	0	1,430,199	
特定資産運用収入	0	4,357,811	4,357,811	
事業収入	0	477,384,763	477,384,763	
補助金等収入	7,338,000	1,063,034,505	1,070,372,505	
雑収入	0	4,037,994	4,037,994	
事業活動収入計	8,768,199	1,548,815,073	1,557,583,272	
2 事業活動支出				
事業費支出	7,481,000	203,272,825	210,753,825	
管理費支出	0	832,389,020	832,389,020	
事業活動支出計	7,481,000	1,035,661,845	1,043,142,845	
事業活動収支差額	1,287,199	513,153,228	514,440,427	
投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
基本財産取崩収入	83,190,900	0	83,190,900	
特定資産取崩収入	0	19,175,910	19,175,910	
投資活動収入計	83,190,900	19,175,910	102,366,810	
2 投資活動支出				
基本財産取得支出	83,190,900	0	83,190,900	
特定資産取得支出	1,287,199	5,081,398	6,368,597	
投資活動支出計	84,478,099	5,081,398	89,559,497	
投資活動収支差額	1,287,199	14,094,512	12,807,313	
財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
借入金返済支出	0	532,529,500	532,529,500	
財務活動支出計	0	532,529,500	532,529,500	
財務活動収支差額	0	532,529,500	532,529,500	
当期収支差額	0	5,281,760	5,281,760	
前期繰越収支差額	0	37,231,715	37,231,715	
次期繰越収支差額	0	31,949,955	31,949,955	

一般会計収支計算書
平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

単位：円

科 目	a 予算額	b 決算額	a - b 差 異	備 考
事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用収入				
基本財産利息収入	1,811,000	1,430,199	380,801	
補助金等収入				
市補助金収入	7,338,000	7,338,000	0	
事業活動収入計	9,149,000	8,768,199	380,801	
2 事業活動支出				
事業費支出				
団体育成事業費支出	6,379,000	6,341,000	38,000	
芸文運営事業費支出	800,000	800,000	0	
連盟育成事業費支出	340,000	340,000	0	
国際交流事業費支出	20,000	0	20,000	
事業活動支出計	7,539,000	7,481,000	58,000	
事業活動収支差額	1,610,000	1,287,199	322,801	
投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
基本財産取崩収入				
投資有価証券売却収入	83,000,000	82,857,600	142,400	
基本財産引当預金取崩収入	0	333,300	333,300	
投資活動収入計	83,000,000	83,190,900	190,900	
2 投資活動支出				
基本財産取得支出				
投資有価証券購入支出	83,000,000	83,190,900	190,900	
特定資産取得支出				
その他引当資産取得支出	1,610,000	1,287,199	322,801	
投資活動支出計	84,610,000	84,478,099	131,901	
投資活動収支差額	1,610,000	1,287,199	322,801	
財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

特別会計収支計算書
平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

単位：円

科 目	a 予算額	b 決算額	a - b 差異	備 考
事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
特定資産運用収入				
特定資産利息収入	3,060,000	4,357,811	1,297,811	
事業収入				
美術展事業収入	4,212,000	7,453,723	3,241,723	
友の会事業収入	59,748,000	56,967,696	2,780,304	
ホール事業収入	58,612,000	55,878,578	2,733,422	
附帯事業収入	91,100,000	94,177,920	3,077,920	
施設収入	279,666,000	262,906,846	16,759,154	
補助金等収入				
市補助金収入	1,063,210,000	1,063,034,505	175,495	
雑収入				
受取利息収入	884,000	1,267,814	383,814	
雑収入	2,945,000	2,770,180	174,820	
事業活動収入計	1,563,437,000	1,548,815,073	14,621,927	
2 事業活動支出				
事業費支出				
美術展事業費支出	30,139,000	28,655,919	1,483,081	
友の会事業費支出	34,838,000	33,231,398	1,606,602	
ホール事業費支出	71,765,000	60,944,665	10,820,335	
附帯事業費支出	78,172,000	80,440,843	2,268,843	
管理費支出				
一般管理費支出	844,378,000	832,389,020	11,988,980	
事業活動支出計	1,059,292,000	1,035,661,845	23,630,155	
事業活動収支差額	504,145,000	513,153,228	9,008,228	
投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
特定資産取崩収入				
退職給付引当資産取崩収入	5,644,000	5,643,829	171	
その他引当資産取崩収入	13,532,000	13,532,081	81	
投資活動収入計	19,176,000	19,175,910	90	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出				
減価償却引当資産取得支出	5,429,000	5,081,398	347,602	
投資活動支出計	5,429,000	5,081,398	347,602	
投資活動収支差額	13,747,000	14,094,512	347,512	
財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
借入金返済支出				
長期借入金返済支出	532,530,000	532,529,500	500	
財務活動支出計	532,530,000	532,529,500	500	
財務活動収支差額	532,530,000	532,529,500	500	
予備費支出	35,000,000	-	20,362,000	
	14,638,000			(注)
当期収支差額	35,000,000	5,281,760	29,718,240	
前期繰越収支差額	35,945,000	37,231,715	1,286,715	
次期繰越収支差額	945,000	31,949,955	31,004,955	

(注) 予備費 14,638,000円は一般管理費支出に充当使用した額である。

正味財産増減計算書総括表
平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

単位：円

科 目	a 一般会計	b 特別会計	a + b 合 計
一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,430,199	0	1,430,199
特定資産運用益	0	4,357,811	4,357,811
事業収益	0	477,384,763	477,384,763
受取補助金等	7,338,000	1,063,034,505	1,070,372,505
雑収益	0	4,037,994	4,037,994
引当金取崩額	0	5,643,829	5,643,829
経常収益計	8,768,199	1,554,458,902	1,563,227,101
(2) 経常費用			
事業費	7,481,000	203,272,825	210,753,825
管理費	0	1,085,688,679	1,085,688,679
経常費用計	7,481,000	1,288,961,504	1,296,442,504
当期経常増減額	1,287,199	265,497,398	266,784,597
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,287,199	265,497,398	266,784,597
一般正味財産期首残高	14,893,348	137,147,845	152,041,193
一般正味財産期末残高	16,180,547	402,645,243	418,825,790
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	204,712,157	0	204,712,157
指定正味財産期末残高	204,712,157	0	204,712,157
正味財産期末残高	220,892,704	402,645,243	623,537,947

一般会計正味財産増減計算書
平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

単位：円

科 目	a 当年度	b 前年度	a - b 増減
一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,430,199	1,386,644	43,555
受取補助金等			
受取市補助金	7,338,000	7,338,000	0
経常収益計	8,768,199	8,724,644	43,555
(2) 経常費用			
事業費			
団体育成事業費	6,341,000	6,336,000	5,000
芸文運営事業費	800,000	800,000	0
連盟育成事業費	340,000	340,000	0
国際交流事業費	0	7,429	7,429
経常費用計	7,481,000	7,483,429	2,429
当期経常増減額	1,287,199	1,241,215	45,984
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,287,199	1,241,215	45,984
一般正味財産期首残高	14,893,348	13,652,133	1,241,215
一般正味財産期末残高	16,180,547	14,893,348	1,287,199
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	204,712,157	204,712,157	0
指定正味財産期末残高	204,712,157	204,712,157	0
正味財産期末残高	220,892,704	219,605,505	1,287,199

特別会計正味財産増減計算書
平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

単位：円

科 目	a 当年度	b 前年度	a - b 増減
一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	4,357,811	0	4,357,811
事業収益			
美術展事業収益	7,453,723	4,960,485	2,493,238
友の会事業収益	56,967,696	59,042,390	2,074,694
ホール事業収益	55,878,578	81,032,135	25,153,557
附帯事業収益	94,177,920	101,247,849	7,069,929
施設収益	262,906,846	281,247,722	18,340,876
受取補助金等			
受取市補助金	1,063,034,505	788,723,584	274,310,921
雑収益			
受取利息	1,267,814	2,172,190	904,376
雑収益	2,770,180	2,870,769	100,589
引当金取崩額			
退職給付引当金取崩額	5,643,829	5,643,829	0
経常収益計	1,554,458,902	1,326,940,953	227,517,949
(2) 経常費用			
事業費			
美術展事業費	28,655,919	18,679,341	9,976,578
友の会事業費	33,231,398	33,073,705	157,693
ホール事業費	60,944,665	88,469,914	27,525,249
附帯事業費	80,440,843	87,235,624	6,794,781
管理費			
一般管理費	1,085,688,679	832,554,487	253,134,192
経常費用計	1,288,961,504	1,060,013,071	228,948,433
当期経常増減額	265,497,398	266,927,882	1,430,484
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
建物圧縮記帳損	0	255,871,225	255,871,225
什器備品圧縮記帳損	0	4,500,000	4,500,000
経常外費用計	0	260,371,225	260,371,225
当期経常外増減額	0	260,371,225	260,371,225
当期一般正味財産増減額	265,497,398	6,556,657	258,940,741
一般正味財産期首残高	137,147,845	130,591,188	6,556,657
一般正味財産期末残高	402,645,243	137,147,845	265,497,398
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	402,645,243	137,147,845	265,497,398

貸借対照表総括表
平成21年3月31日現在

単位：円

科 目	a 一般会計	b 特別会計	a + b 合 計
資産の部			
1 流動資産			
現金預金	137,543	150,837,198	150,974,741
未収金	0	29,484,591	29,484,591
前払金	5,457	0	5,457
前払費用	0	1,304,192	1,304,192
流動資産合計	143,000	181,625,981	181,768,981
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	204,705,228	0	204,705,228
基本財産引当預金	6,929	0	6,929
基本財産合計	204,712,157	0	204,712,157
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	0	16,931,491	16,931,491
減価償却引当資産	0	248,434,483	248,434,483
その他引当資産	16,180,547	99,478,074	115,658,621
特定資産合計	16,180,547	364,844,048	381,024,595
(3) その他固定資産			
建物	0	4,130,253,161	4,130,253,161
建物減価償却累計額	0	265,656,776	265,656,776
構築物	0	9,811,500	9,811,500
構築物減価償却累計額	0	8,346,815	8,346,815
車輛運搬具	0	4,021,100	4,021,100
車輛運搬具減価償却累計額	0	3,900,467	3,900,467
什器備品	0	425,383,010	425,383,010
什器備品減価償却累計額	0	218,748,686	218,748,686
電話加入権	0	634,400	634,400
投資有価証券	0	47,228,254	47,228,254
出資金	0	100,000	100,000
その他固定資産合計	0	4,120,778,681	4,120,778,681
固定資産合計	220,892,704	4,485,622,729	4,706,515,433
資産合計	221,035,704	4,667,248,710	4,888,284,414
負債の部			
1 流動負債			
未払金	143,000	101,669,376	101,812,376
前受金	0	41,999,821	41,999,821
預り金	0	6,006,829	6,006,829
流動負債合計	143,000	149,676,026	149,819,026
2 固定負債			
長期借入金	0	4,092,822,950	4,092,822,950
退職給付引当金	0	16,931,491	16,931,491
受入保証金	0	5,173,000	5,173,000
固定負債合計	0	4,114,927,441	4,114,927,441
負債合計	143,000	4,264,603,467	4,264,746,467
正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄附金	204,712,157	0	204,712,157
指定正味財産合計	204,712,157	0	204,712,157
(うち基本財産への充当額)	(204,712,157)	(0)	(204,712,157)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(16,180,547)	(347,912,557)	(364,093,104)
正味財産合計	220,892,704	402,645,243	623,537,947
負債及び正味財産合計	221,035,704	4,667,248,710	4,888,284,414

一般会計貸借対照表
平成21年3月31日現在

単位：円

科 目	a 当年度	b 前年度	a - b 増減
資産の部			
1 流動資産			
現金預金	137,543	134,099	3,444
前払金	5,457	3,901	1,556
流動資産合計	143,000	138,000	5,000
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	204,705,228	204,371,928	333,300
基本財産引当預金	6,929	340,229	333,300
基本財産合計	204,712,157	204,712,157	0
(2) 特定資産			
その他引当資産	16,180,547	14,893,348	1,287,199
特定資産合計	16,180,547	14,893,348	1,287,199
固定資産合計	220,892,704	219,605,505	1,287,199
資産合計	221,035,704	219,743,505	1,292,199
負債の部			
1 流動負債			
未払金	143,000	138,000	5,000
流動負債合計	143,000	138,000	5,000
負債合計	143,000	138,000	5,000
正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄附金	204,712,157	204,712,157	0
指定正味財産合計	204,712,157	204,712,157	0
(うち基本財産への充当額)	(204,712,157)	(204,712,157)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	16,180,547	14,893,348	1,287,199
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(16,180,547)	(14,893,348)	(1,287,199)
正味財産合計	220,892,704	219,605,505	1,287,199
負債及び正味財産合計	221,035,704	219,743,505	1,292,199

特別会計貸借対照表
平成21年3月31日現在

単位：円

科 目	a 当年度	b 前年度	a - b 増減
資産の部			
1 流動資産			
現金預金	150,837,198	133,038,786	17,798,412
未収金	29,484,591	24,489,800	4,994,791
前払費用	1,304,192	256,370	1,047,822
流動資産合計	181,625,981	157,784,956	23,841,025
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	16,931,491	22,575,320	5,643,829
減価償却引当資産	248,434,483	243,353,085	5,081,398
その他引当資産	99,478,074	113,010,155	13,532,081
特定資産合計	364,844,048	378,938,560	14,094,512
(2) その他固定資産			
建物	4,130,253,161	4,130,253,161	0
建物減価償却累計額	265,656,776	29,514,211	236,142,565
構築物	9,811,500	9,811,500	0
構築物減価償却累計額	8,346,815	7,997,260	349,555
車輛運搬具	4,021,100	4,021,100	0
車輛運搬具減価償却累計額	3,900,467	3,860,256	40,211
什器備品	425,383,010	425,383,010	0
什器備品減価償却累計額	218,748,686	201,981,358	16,767,328
電話加入権	634,400	634,400	0
投資有価証券	47,228,254	47,228,254	0
出資金	100,000	100,000	0
その他の固定資産合計	4,120,778,681	4,374,078,340	253,299,659
固定資産合計	4,485,622,729	4,753,016,900	267,394,171
資産合計	4,667,248,710	4,910,801,856	243,553,146
負債の部			
1 流動負債			
未払金	101,669,376	71,331,645	30,337,731
前受金	41,999,821	41,161,853	837,968
預り金	6,006,829	8,059,743	2,052,914
流動負債合計	149,676,026	120,553,241	29,122,785
2 固定負債			
長期借入金	4,092,822,950	4,625,352,450	532,529,500
退職給付引当金	16,931,491	22,575,320	5,643,829
受入保証金	5,173,000	5,173,000	0
固定負債合計	4,114,927,441	4,653,100,770	538,173,329
負債合計	4,264,603,467	4,773,654,011	509,050,544
正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(347,912,557)	(356,363,240)	(8,450,683)
正味財産合計	402,645,243	137,147,845	265,497,398
負債及び正味財産合計	4,667,248,710	4,910,801,856	243,553,146

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準

原価基準を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産のうち減価償却資産については、定額法による減価償却を実施している。ただし、取得価格が20万円未満であるものについては、事業年度ごと一括して3年間で償却している。

(3) リース取引の処理方法

賃貸借取引に係る方法に準じている。

(4) 資金の範囲

資金の範囲は、流動資産及び流動負債（短期借入金を除く）としている。なお、前期末及び当期末残高は、下記3に記載するとおりである。

(5) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税抜方式を採用している。ただし、特定収入に係る控除対象外消費税は、発生事業年度の支出として処理している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	204,371,928	83,190,900	82,857,600	204,705,228
基本財産引当定期預金	340,229	0	333,300	6,929
小 計	204,712,157	83,190,900	83,190,900	204,712,157
特定資産				
退職給付引当資産	22,575,320	0	5,643,829	16,931,491
減価償却引当資産	243,353,085	5,081,398	0	248,434,483
その他引当資産	127,903,503	1,287,199	13,532,081	115,658,621
小 計	393,831,908	6,368,597	19,175,910	381,024,595
合 計	598,544,065	89,559,497	102,366,810	585,736,752

3 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	133,172,885	150,974,741
未収金	24,489,800	29,484,591
前払金	3,901	5,457
前払費用	256,370	1,304,192
合 計	157,922,956	181,768,981
未払金	71,469,645	101,812,376
前受金	41,161,853	41,999,821
預り金	8,059,743	6,006,829
合 計	120,691,241	149,819,026
次期繰越収支差額	37,231,715	31,949,955

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
(一般会計)			
国債5年 みずほインベスターズ証券	155,733,712	155,600,000	133,712
国債5年 尼崎信用金庫	35,058,450	35,000,000	58,450
国債5年 東海東京証券	13,913,066	13,900,000	13,066
小 計	204,705,228	204,500,000	205,228
(特別会計)			
国債5年 東海東京証券	13,112,314	13,100,000	12,314
国債5年 日興コーディアル証券	34,115,380	34,000,000	115,940
小 計	47,228,254	47,100,000	128,254
合 計	251,933,482	251,600,000	333,482

財 産 目 録
平成21年3月31日現在

単位：円

科 目	金 額		
資産の部			
1 流動資産			
現金預金 小口現金	1,330,000		
持越現金	1,754,385		
尼崎信用金庫 中央支店	147,781,093		
三井住友銀行 尼崎支店	109,263		
未収金 施設収入他	29,484,591		
前払金 経過利子	5,457		
前払費用 未経過保険料	1,304,192		
流動資産合計		181,768,981	
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券			
国債 みずほインベスターズ証券 尼崎支店	155,733,712		
尼崎信用金庫 中央支店	35,058,450		
東海東京証券 神戸支店	13,913,066		
基本財産引当預金			
尼崎信用金庫 中央支店	6,929		
基本財産合計	204,712,157		
(2) 特定資産			
退職給付引当資産 尼崎土地開発公社	16,931,491		
減価償却引当資産 尼崎土地開発公社	248,434,483		
その他引当資産 尼崎土地開発公社	110,634,026		
その他引当資産 尼崎信用金庫 中央支店	5,024,595		
特定資産合計	381,024,595		
(3) その他固定資産			
建物 ホール棟	522,802,107		
専用駐車場	163,037,040		
中ホール等	2,798,761,355		
その他	379,995,883		
構築物 広報板等	1,464,685		
車輛運搬具 財団乗用車	120,633		
什器備品 大ホール調光卓等	206,634,324		
電話加入権 6487-0800他	634,400		
投資有価証券			
国債 東海東京証券 神戸支店	13,112,314		
国債 日興コーディアル証券 西宮支店	34,115,940		
出資金 尼崎信用金庫 中央支店	100,000		
その他固定資産合計	4,120,778,681		
固定資産合計		4,706,515,433	
資産合計			4,888,284,414
負債の部			
1 流動負債			
未払金 一般管理費等	101,812,376		
前受金 施設収入等	41,999,821		
預り金 源泉所得税等	1,515,470		
入場券販売代金等	4,491,359		
流動負債合計		149,819,026	
2 固定負債			
長期借入金 三井住友銀行 尼崎支店	3,821,922,950		
日本政策投資銀行 関西支店	264,000,000		
尼崎信用金庫 中央支店	6,900,000		
退職給付引当金 財団職員33名分	16,931,491		
受入保証金 テナント業者等敷金	5,173,000		
固定負債合計		4,114,927,441	
負債合計			4,264,746,467
正味財産			623,537,947

平成21年5月20日

財団法人尼崎市総合文化センター
理事長 白井 文 様

財団法人尼崎市総合文化センター
監 事 直 原 基 壬
監 事 村 上 稔

監 査 報 告 書

私たちは、平成20年4月1日から平成21年3月31日までの会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検証した。
- (2) 業務監査について、事務局からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検証した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく明示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないと認める。

以 上

平成 21 年度事業計画

はじめに

世界的な金融不安、景気低迷など、社会経済情勢の変化を受けている中、個人消費の長期的な伸び悩みも依然として続いております。尼崎市の財政も厳しい状況が続いており、さまざまな行財政改革が実施され、当財団においても市の財政支援に依存しない外郭団体の自立経営が求められております。そういった中、平成 21 年 4 月に「株式会社エフエムあまがさき」からコミュニティエフエム放送事業を譲り受けることになりました。財団は、譲渡された放送事業をこれまで培ってきた文化・芸術などさまざまなノウハウを活かしたより魅力ある番組づくりに努めると共に、災害情報をはじめとする地域情報を市民に広く、迅速に伝えることができるメディアとしての役割を有効活用してまいります。

また、平成 21 年度につきましても、市民のための公共施設として、市民の声を重視し、市民の価値観・ニーズの変化に対応した事業展開を図ってまいります。カルチャースクールや美術展、ホール事業などの自主企画事業をアートマネジメントし、より多くの市民が良質の芸術を体験できる機会を創出すると共に、貸館事業や宴会事業につきましても、市民に喜んでいただけるより良いサービス提供に努めながら、積極的な営業活動を行ってまいります。

1 文化事業

(1) 美術展事業

洋画・日本画の分野を取り払い現在の美術界で活躍している作家 95 名の作品を通し、21 世紀の絵画の動向を探る「2009 両洋の眼」第 20 回展、我が国の写真の祖とも称される上野彦馬に因み、若手の写真家を育成する目的として開催されている「第 9 回上野彦馬賞九州産業大学フォトコンテスト」受賞作品展、同展の特別企画展として、「古典カメラから国産カメラへの変遷」を、尼崎の郷土画家でアクションペインターとして世界的にも有名な白髪一雄の画業を回顧する「白髪一雄展」、桜島のシリーズをもとに鹿児島や日本を代表する洋画家の作品を集めた「桜島と鹿児島ゆかりの画家たち展」の 4 つの主催事業を開催いたします。

また、ドイツのアウクスブルク市との姉妹都市提携 50 周年を記念して「ドイツ・アウクスブルク市紹介展」を共催事業として開催いたします。

事業名	とき
「2009両洋の眼」第20回記念展	5月16日(土)～6月7日(日)
「第9回上野彦馬賞九州産業大学フォトコンテスト」受賞作品展 特別企画展「古典カメラから国産カメラへの変遷」	6月13日(土)～7月5日(日)
「白髪一雄展」- 格闘から生まれた絵画 -	7月18日(土)～9月6日(日)
「桜島と鹿児島ゆかりの画家たち展」	11月14日(土)～12月13日(日)
「ドイツ・アウクスブルク市紹介展」	11月12日(土)～11月29日(日)

(2) 友の会事業

常設講座、定期講座などを通じて、幼児から高齢者まで幅広い人々の芸術文化活動の学習、創作、実践の場や趣味を同じくする方々の交流の場を提供するとともに、受講生による作品展や桂米朝一門による尼崎落語勉強会など多種多様な企画事業を実施いたします。

また、効果的な P R 活動を実施するとともに、随時見学・体験入学を行い受講生の拡大と定着化を図ってまいります。

(3) ホール事業

【大ホール】

「千の風になって」で爆発的にブレイクし現在、最も注目を浴びるテノール歌手『秋川雅史コンサート』、上方歌舞伎を牽引する人間国宝、坂田藤十郎が主宰する近松座の松竹大歌舞伎『近松座歌舞伎公演』、親子対象の事業として、ケロロ小隊が舞台で大活躍するマスクプレイ・ミュージカル『ケロロ軍曹 コチヨコチヨ大作戦であります!』、「桃色吐息」、「for you・・・」といったヒットを放ち、光沢のあるソプラノ・ヴォイスで大人による大人のためのポップスを歌い続ける『高橋真梨子コンサート』、オペラ歌手、江原啓之による『江原啓之 オペラ講座 特別編』、日本を代表するビッグバンドのアロージャズオーケストラと抜群のヴォーカリゼーションで一世を風靡した国民的シンガー岩崎宏美とのコラボレーションで実施する『アロージャズオーケストラ with 岩崎宏美』、ぴあ共同企画として、元 THE BLUE HEARTS、 THE HIGH LOWS の甲本ヒロトと真島昌利が主要メンバーであるロックバンド『ザ・クロマニヨンズ LIVE IN 尼崎公演』を実施いたします。“ワルツ王”ヨハン・シュトラウス自身が創設した由緒正しき伝統のあるオーケストラによる『ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団ニューイヤーコンサート』、関西二期会、関西歌劇団、ニュー・オペラシアター神戸のオペラ公演に加え、今回で2回目を迎える新国立劇場から地方への発信事業として『新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演 蝶々夫人』を実施いたします。

また、呉信一率いる関西ブラス界のトップメンバーが結集したジャパン・ブラス・コレクションのコンサートや日本を代表する法村・友井バレエ団、貞松・浜田バレエ団公演、夏休みの時期に小学生を対象とした『舞台裏探検ツアー』、市内の小学6年生を無料招待して実施する『劇団四季こころの劇場』など多彩なジャンルで各年齢層に応じた事業を実施いたします。

事業名	とき
関西二期会第70回オペラ公演「ラ・ボエーム」	5月30日(土) 5月31日(日)
法村友井バレエ団第7回アルカイク定期公演「騎兵隊の休日」他	6月6日(土)
秋川雅史コンサート	6月12日(金)
ザ・クロマニヨンズ LIVE IN 尼崎公演	6月24日(水)
舞台裏探検ツアーVol.7	8月27日(木)
松竹大歌舞伎「近松座歌舞伎公演」	9月3日(木)
貞松・浜田バレエ団第5回アルカイク定期公演「ジゼル」	9月27日(日)
高橋真梨子コンサート	10月4日(日)
江原啓之 オペラ講座 特別編	10月9日(金)
新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室関西公演「蝶々夫人」	10月15日(木) 10月16日(金)
関西歌劇団第91回定期公演「ブッチーニ3部作」	10月24日(土) 10月25日(日)
関西二期会第71回オペラ公演「フィデリオ」	11月21日(土) 11月22日(日)
ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団ニューイヤーコンサート	1月8日(金)
ケロロ軍曹 コチョコチョコ作戦であります！	1月11日(月・祝)
劇団四季こころの劇場	1月14日(木) 1月15日(金)
ニュー・オペラシアター神戸第29回オペラ公演「蝶々夫人」	2月6日(土) 2月7日(日)
アロージャズオーケストラwith岩崎宏美	日程未定
ジャパン・プラス・コレクションVol.12	日程未定

【中ホール】

市民参加事業“市民が親しみやすく、参加しやすい事業”として昨年企画プロデュースし、市民より好評を得ました『第2回オクトダンスフェスティバルダンスグランプリ inOCT』を実施いたします。

また、ホールの構造上の特性を活かし、関西二期会の室内オペラや13回を数える年末の恒例事業となっているビッグ・バンドジャズの『古谷充 ネイバーフッド・ビッグバンドリサイタル』を実施いたします。日本が誇る世界無形遺産の文楽公演、「題名のない音楽会」や「世界一受けたい授業」などでお馴染みの『青島広志 とっておきの音楽塾』を実施いたします。

その他、ダンディズムな“ヴァイオリニスト”古澤巖によるヴァイオリンコンサート『古澤巖プロデュース アルカイクシリーズ定期公演、古澤プレゼンツ 会員限定公演』や日本の伝統芸能である和楽器演奏による公演、昨年末レコード大賞功労賞を受賞、生涯現役の『菅原洋一コンサート』を実施いたします。

事業名	とき
和楽器演奏集団 独楽	7月4日(土)
第2回オクトダンスフェスティバル ダンスグランプリ in OCT	11月8日(日)
古谷充 ネイバーフッド・ビッグバンド・リサイタルVol.13	12月12日(土)
菅原洋一コンサート	1月10日(日)
関西二期会室内オペラ「ザネット」「アメリア舞踏会へ行く」	2月19日(金) 2月20日(土)
青島広志 とっておきの音楽塾 Part.	2月28日(日)
古澤巖プロデュース アルカイクシリーズ定期公演	3月7日(日)
古澤巖プレゼンツ 会員限定公演	日程未定

【ミニホール】

もっと身近にクラシックを楽しんでいただく企画として、『くつろぎコンサート』や0歳からのクラシックとして『親子コンサート』、一流のアーティストによる演奏会、新人の発掘や優秀な人材の紹介を目的にした『新人コンサート』、『20歳のコンサート』を実施いたします。また、くつろぎコンサートの出演者の協力を得て、市内福祉施設や医療施設で無料の出前コンサート（アウトリーチ）を新たに企画いたします。

	事業名	とき
サ	新人コンサート	4月19日(日)
ロ	くつろぎコンサート「平野花子ハープコンサート」	5月24日(日)
ン	くつろぎコンサート「杉江洋子vn.永松裕子vo.コンサート」	6月21日(日)
コ	田村かよ子ソプラノリサイタル～響け、哀愁の歌声Part.7～	7月31日(金)
ン	民族楽器コンサート～マイケル・チンと仲間たちPart. ～	8月21日(金)
サ	くつろぎコンサート「小澤佳子とアンサンブル・クライス(打楽器)」	10月3日(土)
リ	くつろぎコンサート「持丸秀一郎クラリネットアンサンブル」	11月7日(土)
ト	20歳のコンサート	1月17日(日)
	親子コンサート	7月25日(土)

2 附帯事業

宴会事業は、景気の後退局面を迎え、昨年度は利用件数が減少いたしました。

本年度は、メニューにも季節感ある食材を取り入れ、これまで以上に魅力的で割安感のある宴会プランを企画立案するとともに、テナント業者と連携を取りながら、戸別訪問やダイレクトメールなど、積極的な広報活動を行い、利用件数の増加を目指します。

また、食材の品質や安全面での管理を徹底し、接客などの基本的なサービスについても定期的な接遇研修などの実施を通じて改善を行うことにより、リピーターの獲得にも取り組んでまいります。

3 貸館事業

会議室・宴会室の貸館については、景気の後退に伴い、特に企業などの利用件数が減少傾向にあり、この状況はしばらく続くものと考えられますが、ホームページなどの広報媒体が、市民などにとって一層わかりやすくなるように見直し、新たな利用者の開拓に取り組んでまいります。

ホールについては、利用者の要望に迅速かつ柔軟に対応できるよう、ミーティングなどを通じて舞台・施設担当や管理運営業務委託業者との連携を強化し、利用者の立場に立ったサービスの提供を心がけます。

また、安全管理面に一層重点を置いた施設運営を行うために、日々の設備点検などにも細心の注意を払いながら取り組みます。

4 団体育成事業

(1) 音楽団体

創立 45 年を迎える尼崎市吹奏楽団と市合唱団、市吹奏楽連盟並びに市合唱連盟、市合奏連盟の育成にあたっては、それぞれの団、連盟の独自性を尊重しながら活発な活動が行われ、音楽文化の向上に寄与できるよう支援に努めてまいります。

(2) 尼崎芸術文化協会

地域芸術文化の振興に寄与するため、尼崎芸術文化協会が実施する美術展、舞台公演、機関誌等の活動に対し助成を行い、内容の充実・活性化に向けて支援を継続してまいります。

5 文化振興事業

市民文化の向上に寄与するため、美術・文学・音楽・芸能など幅広い分野にわたる文化事業を開催し、市民の創作活動に対しての顕彰や文化活動の場を広め、芸術文化の振興を図ってまいります。

事業名	とき
第4回近松賞(上演準備) 平成22年度公演予定	4月～3月
近松ナウ	4月～3月
第5回近松賞(募集)	5月1日(金)～7月1日(水)
尼崎市民ふれあいギャラリー	7月9日(木)～9月14日(月) 7月9日(木)～8月18日(火) 1月7日(木)～3月9日(火)
第30回富松新能	7月26日(日)
第30回尼崎新能	8月5日(水)
第64回尼崎市文芸祭	9月中旬
第13回あまがさき芸術フェスティバル	9月27日(日)
第10回新人お笑い尼崎大賞	10月3日(土)
第62回尼崎市展	10月10日(土)～10月18日(日)
近松286年祭	10月25日(日)
第46回尼崎市民芸術賞	10月下旬～11月初旬
第39回尼崎市文化功労賞	10月下旬～11月初旬
第58回尼崎市演劇祭	1月30日(土)～1月31日(日)
尼崎文楽公演	3月18日(木)

6 放送事業

コミュニティエフエム放送を通じて、行政情報をはじめ、文化情報や生活情報、天気、道路情報、災害情報などを市民にリアルタイムに提供し、地域の活性化に寄与するため、さまざまな事業を実施してまいります。